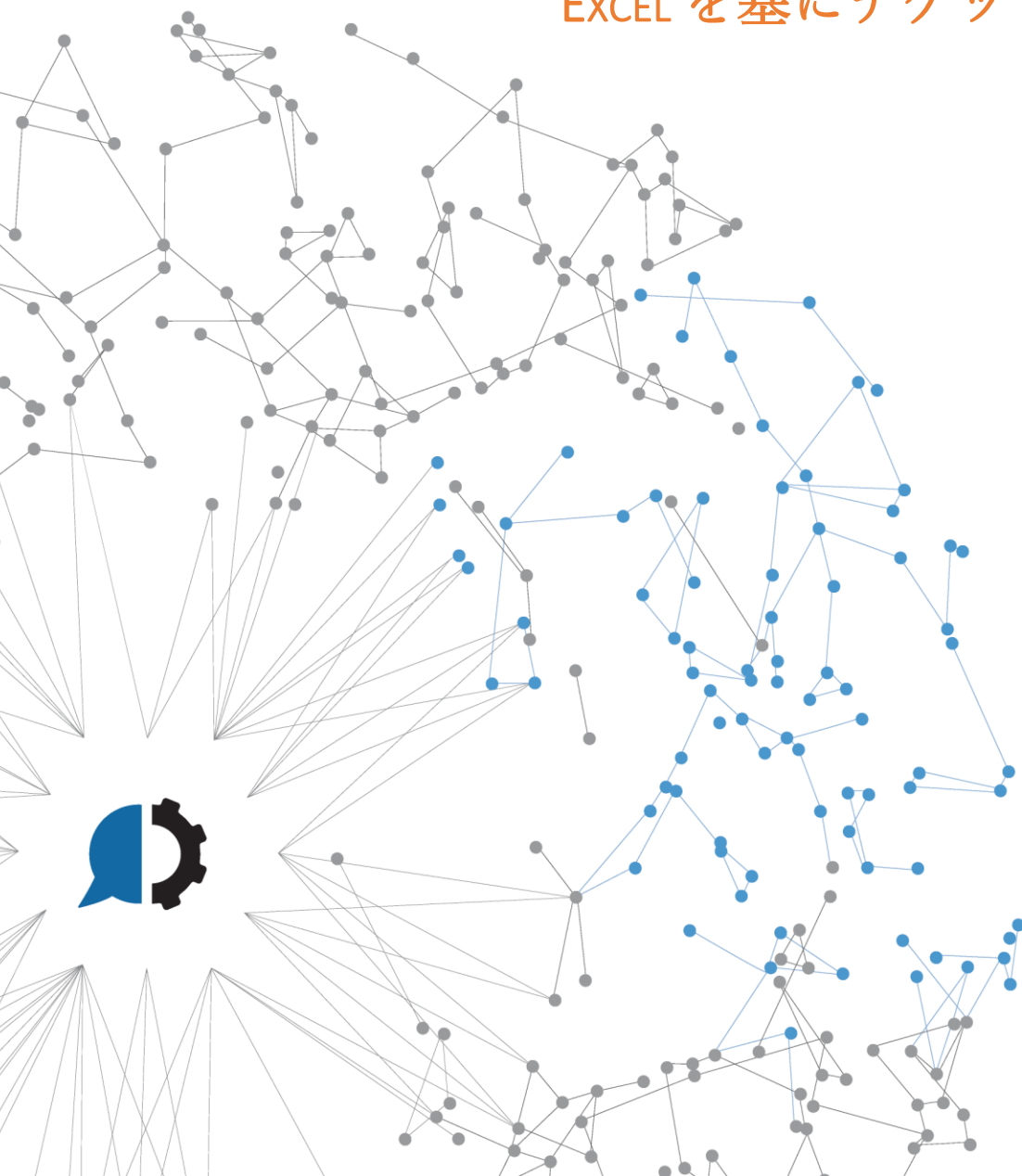




HUBSPOT BOT

EXCEL を基にチケットをクローズ





内容

概要	3
前提条件	4
AUTOMATE タスクをインポートする方法	6
INPUT ファイルの生成方法	7
HUBSPOT - EXCEL を基にチケットをクローズ を実行する方法	8
付録 A – HUBSPOT チケットビュー と EXCEL 結果例	10



概要

この How to ガイドでは、「*HubSpot - Excel を基にチケットをクローズ*」をご紹介します。繰り返しの多い手作業に貴重な時間とリソースを費やす代わりに、AutoMate に任せて、ロボットによるプロセスオートメーションで IT とビジネスプロセスを合理化しましょう。AutoMate は手作業を代行することで、繰り返し作業を大幅に削減し、作業の品質と一貫性を向上させます。自動化されている主なプロセスは、レポート作成、ファイル移動、データのインポートとエクスポート、バッチ処理のスケジューリングです。

「*HubSpot - Excel を基にチケットをクローズ*」は、HubSpot REST API、特に ***Tickets API*** をベースにしています。HubSpot のチケットをクローズし、その実行結果で Input Excel ファイルを更新します。詳細については、「[前提条件](#)」と「[INPUT ファイルの生成方法](#)」のセクションをよくお読みください。

また、[HubSpot - 接続トークンの生成](#)を使えば、このボットを動作させるためのトークンを簡単に作成することができます。トークンはデフォルトで6時間ごとに失効します。



前提条件

- **AutoMate:** Hubspot Bot が動作するためには、AutoMate ソフトウェアが必要です。最低限サポートされているバージョンは以下の通りです。
 - [AutoMate Ultimate 11.2](#)
 - [AutoMate Plus 11.2](#)
 - [AutoMate Desktop 11.2](#)
- **AutoMate Markup Language ファイル (.AML):** Hubspot Bot タスクのステップを含む、AutoMate で使用される主要なファイルタイプです。
- **HubSpot:** 必要となる最小要件は、以下の通りです。
 - **HubSpot REST API を有効にする:** デフォルトで有効になっています。
 - **HubSpot REST API – 接続されたアプリの作成と OAuth の有効化およびトークンの生成:** HubSpot のドキュメントで、接続アプリケーションの作成方法についてはこの [リンク](#) で、OAuth の設定方法についてはこの [リンク](#) で確認することができます。この手順では、このボットの動作に必要な接続トークンを取得することができます。なお、トークンはデフォルトで6時間ごとに有効期限が切れるようになっています。



- **HubSpot 接続アプリケーションのチケットスコープ:** 接続アプリケーションの設定時に、必要なスコープが選択されていることが重要です。これにより、この AutoMate HubSpot Bot から `crm-objects/objects/tickets` API の実行が許可されます。

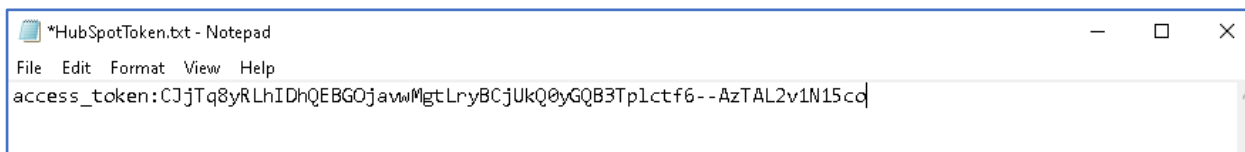
REQUIRED PERMISSIONS	DETAILS
Basic OAuth functionality <code>oauth</code>	The basic scope required for OAuth.
Tickets <code>tickets</code>	This includes access to tickets.

- **HubSpot の接続値を設定するために作成する AutoMate 定数:**
 - `const_HubSpotURL`: 接続用の HubSpot URL。例: `https://api.hubapi.com`
 - `const_HubSpotToken`: 接続/リクエストを実行するための HubSpot トークン。トークンの値、またはトークンを含む `.txt` ファイルがあるパスを設定できます。例: `C:\Automate\HubSpotToken.txt`

`.txt` ファイルを使用する場合、トークンは以下のフォーマット/構造である必要があります。

`access_token:TokenString`

例:



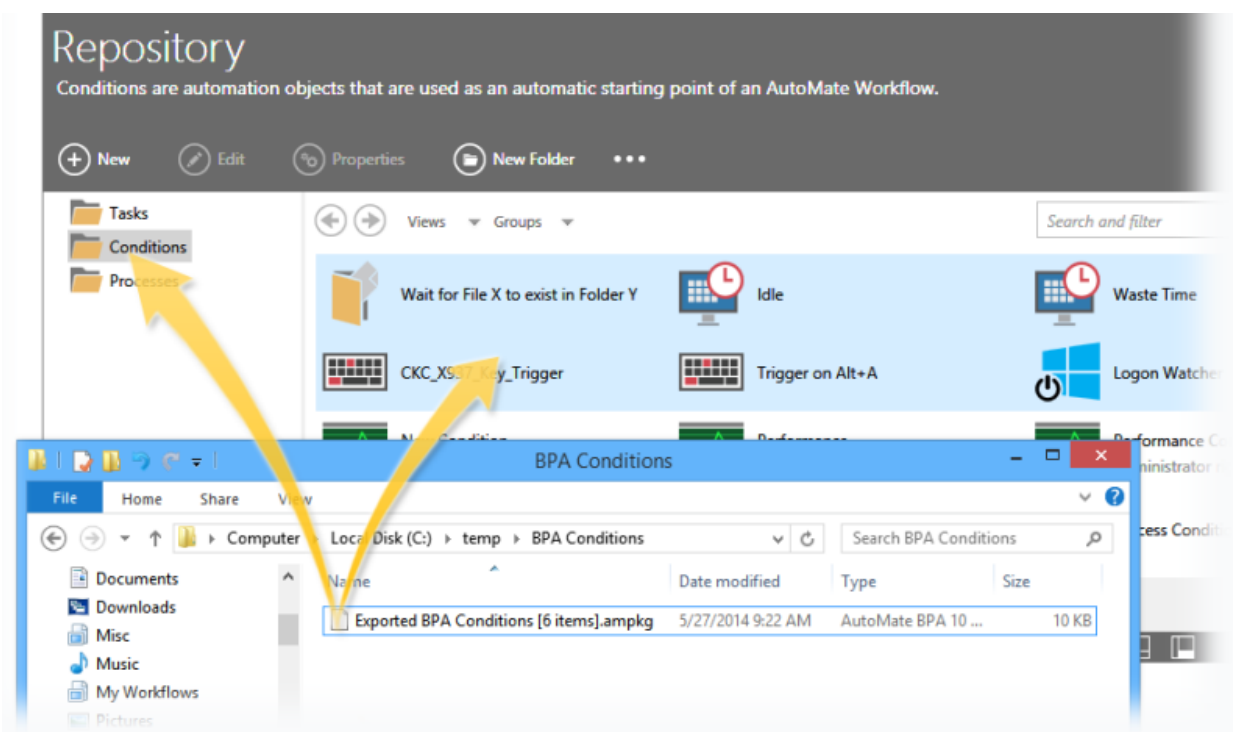


AUTOMATE タスクをインポートする方法

互換性のあるファイル形式は、ドラッグ&ドロップでリポジトリに取り込むことができます。

サーバー管理コンソール(SMC)から、[リポジトリ]セクションに移動します。

目的のファイルを元の場所からドラッグして、SMC 内のフォルダにドロップします。ファイルは、フォルダーアイコンまたはメインパネルにドロップすることができます（下図参照）。インポートされたオブジェクトは、自動的に対応するリポジトリの場所に配置されます。





INPUT ファイルの生成方法

この HubSpot BOT に同梱されている入力ファイル「**HubSpot Close Tickets INPUT.xlsx**」は、トランザクションの全項目を自動的に入力するための一覧表を提供します。

Excel INPUT ファイル

	A	B	C	D	E
1	HubSpot - Ticket Fields. It will be closed with Status "Closed (4)"		Closed?		Result Details
2	Ticket ID	NOTE (to be added to the Ticket when closed)	Yes/No	Date	Message

注:

- **すべての項目**は必須です（A 列、B 列）
- チケットのステータスを変更する前に、note が追加されます。
- INPUT ファイルの C 列から E 列には、実行結果が記入されます。結果に関する例は、[付録 A](#)を参照してください。

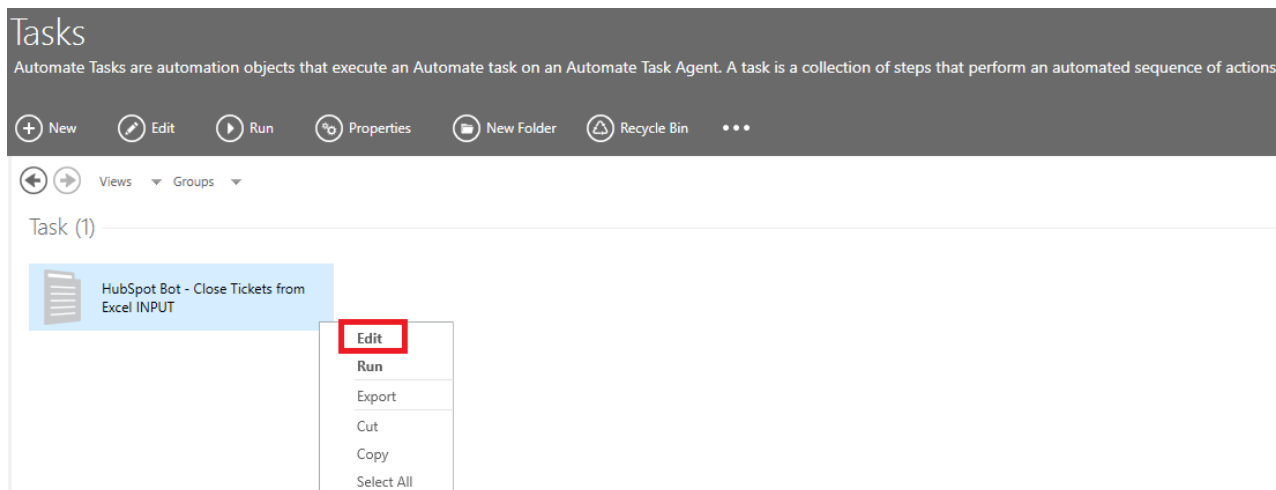


HUBSPOT - EXCEL を基にチケットをクローズ を実行する方法

このタスクを初めて実行する場合、いくつかのパラメータを設定する必要があります。

サーバー管理コンソールを開き、インポートしたタスクを探します。

インポートしたタスクを右クリックし、編集を選択して編集します。

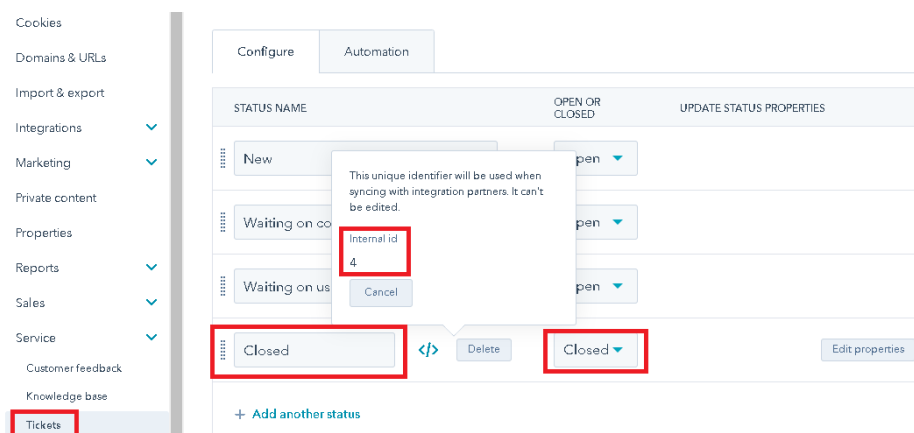


ステップ 4 からは、希望する出力に応じて次の変数を編集してください。

- **var_ExcelInputFile:** HubSpot Close Tickets INPUT.xlsx の完全なパスとファイル名

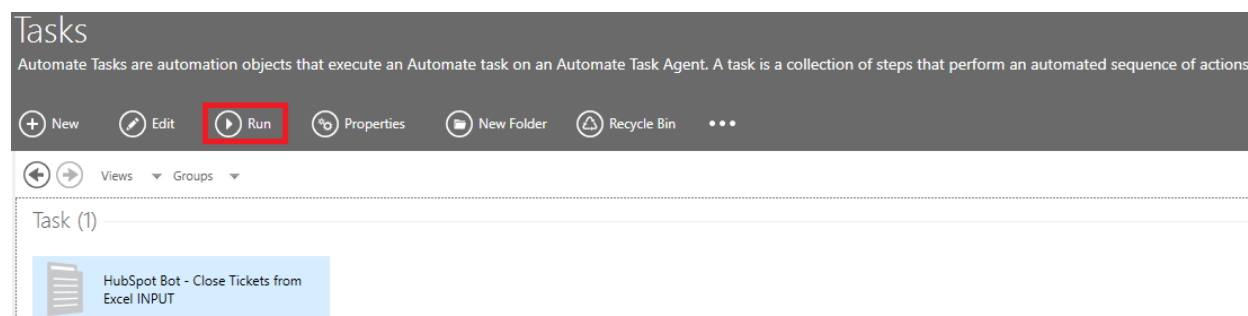
例: **"D:\Automate\HubSpot Close Tickets INPUT.xlsx"**

- **var_PipelineStageID:** パイプラインのステージ ID は、HubSpot のステータスの ID を表します。デフォルトでは、ステージ「Closed」は ID 「4」で表されます。カスタマイズ設定の場合は、対応する ID に変更する必要があります。パイプラインステージ ID は、HubSpot のチケット設定で確認できます。

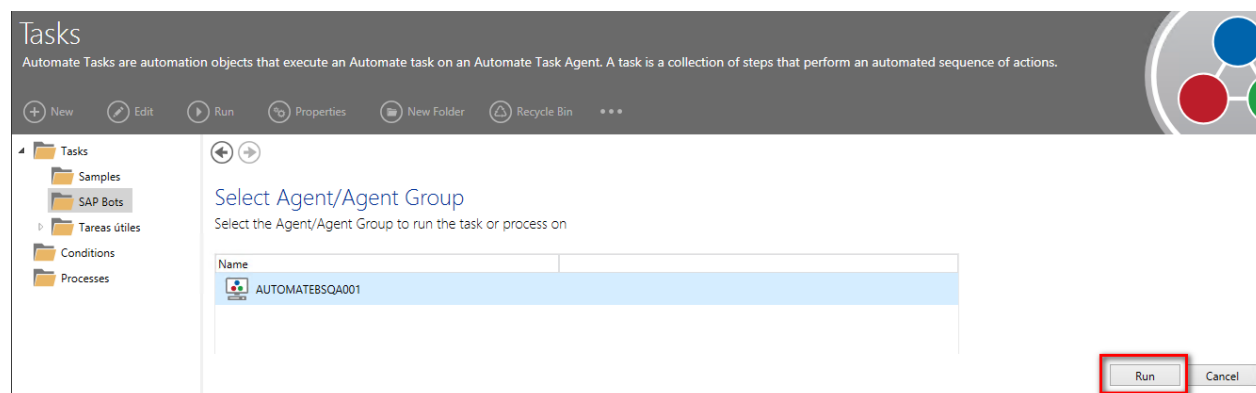


タスクを保存して閉じます。

タスクを選択し実行をクリックします。



Agent を選択し、再度「実行」をクリックします。





付録 A – HUBSPOT チケットビュー と EXCEL 結果例

結果が記載された INPUT Excel ファイル:

	A	B	C	D	E
1	HubSpot - Ticket Fields. It will be closed with Status "Closed (4)"		Closed?		Result Details
2	Ticket ID	NOTE (to be added to the Ticket when closed)	Yes/No	Date	Message
3	109739402	Closed by Automate HubSpot Bot	YES	26/03/2020 5:13:23 PM	The ticket was closed.
4	109739403	Closed by Automate HubSpot Bot	YES	26/03/2020 5:13:25 PM	The ticket was closed.
5	109731795	Closed by Automate HubSpot Bot	YES	26/03/2020 5:13:27 PM	The ticket was closed.

なお、実行結果は C 列から E 列へ書き込まれます。

HubSpot チケットビュー結果:

Contacts ▾ Conversations ▾ Marketing ▾ Sales ▾ Service ▾ Automation ▾ Reports ▾

🔍 ⚙️ 🔔 👤 ▾

Tickets

Table Board

Search for a ticket 🔍

Actions ▾

Import

Create ticket

All tickets

My open tickets

Unassigned tickets

All saved filters >

Pipeline

Support Pipeline

<input type="checkbox"/>	TICKET NAME ▴	TICKET ID	TICKET STATUS
<input type="checkbox"/>	Automate Test1	109739402	Closed
<input type="checkbox"/>	Automate Test2	109739403	Closed
<input type="checkbox"/>	Automate Test3	109731795	Closed

< Prev 1 Next > 25 per page ▾



付録B-トラブルシューティング

- ログ: ボットの各反復は、トラブルシューティングのためにログファイルを作成します。ログファイルは、C:\Automate\Tasks\<<TASK NAME>>の下にあります。デフォルトでは、タスク名は「*HubSpot Bot - Close Tickets from Excel INPUT*」です。



About HelpSystems

Organizations around the world rely on HelpSystems to make IT lives easier and keep business running smoothly. Our software and services monitor and Automate processes, encrypt and secure data, and provide easy access to the information people